



Nur Jesus gibt Heilung, Rettung, Liebe. Bitte darum. (イエスだけが、癒し・救い・愛を与えることができる。彼に求めなさい。)

Atsuko Kudo Mail Magazine 219

2016.06.06 ●台湾、賛美セミナー

お元気でいらっしゃいますか？

台湾、日本での活動のためにお祈りくださり、本当にありがとうございました！

6月1日（水）無事にハンブルクの我が家に戻りました。全てインテンシティブな奉仕でしたので、緑と美しい鳥の歌に囲まれた静かな家に戻り、久しぶりに深い安堵を覚えています。

●台湾コンサート・ツアー(5月9日～16日)



今回の台湾ツアーは、金曜以外は毎日コンサート、また移動の途中、奉仕先以外の教会、キリスト教団体が経営する老人ホーム、原住民センター、玉山神学校（原住民の神学校）などを訪問させていただき、過密なスケジュールとなりましたが、主がすべての行程を守り、祝し、また、幸いな交わりの時を与えてくださいました。

台湾宣教チームは、いつものように、通訳・オーガナイザーの荘さんこと荘田欽次さん、ピアノの野田常喜さん、世話役の中川庸子さん。長年の息の合ったチームワークに助けられ、また、主が行く先々で素晴らしい奉仕者を遣わしてくださり、感謝な奉仕をさせていただくことができました。(写真：左から、中川さん、野田さん、台東長老教会の張長老夫人、私、張長老、荘さん。台東県の初鹿教会にて)



まず高雄に到着し、屏東、台東、鶴岡、花蓮と、今回初めて台湾東部を廻りました。台湾には16の原住民部族がありますが、その多くが東部に住んでいます。そして、何と原住民の60%がクリスチャンです。従って、東部には多くの原住民教会があります。クリスチャンが多いせいでしょうか。台湾東部の町には、ディスコやナイトクラブ、風俗店はほとんどありません。治安もとても良いとのことでした。

今回、私たちは、4つの台湾人教会と2つの原住民教会（鶴岡教会、姫望記念教会）で奉仕させていただきました。



● 布農文教基金会

阿美族の教会である鶴岡教会のコンサートの前に、私たちは、白 光勝牧師によって建てられた布農（ブヌン）族の文教基金会を訪問しました。

1984 年、ブヌン族の多くが住む台東県延平郷で、白牧師は、ブヌンの子供たちを教育し始めました。それまでしいたげられてきた原住民の子供が社会に出て、まっとうな仕事を得るためには、まず良い教育が必要であると考えたからです。独自の文字を持ち、民族意識が高く団結力も強かったブヌン族は、白牧師の指導のもと、勉学に励みました。1992 年には、原住民では初めての「布農幼稚園」、1995 年には、布農文教基金会による施設、布農部落休閒農場を建てました。

昼食後、敷地内にあるカフェで、目の前に広がる山地の美しい景色を堪能しながら休息していると、杖をつきながら、白牧師が入って来られました。流暢な日本語で冗談を飛ばしながらの会話から、小児麻痺の体で、ここまで原住民のために貢献してこられた白牧師の大きなビジョンと熱い愛に、圧倒される思いでした。（写真：一番前が白牧師）



● 鶴岡教会（台湾長老教会、阿美族教会）

阿美族の人たちは時間に遅れて来る、と聞いていたのですが、リハーサル時から人々が集まり始め、30 分前には教会はほぼ一杯になりました。多くの子どもたちも来てくれました。コンサートでは、聖霊に押し出されるように、日本統治時代、日本が原住民を迫害したことへの謝罪のことばが口をついて出て来ました。会場から拍手が沸き上がりました。私の謝罪の思いを受け入れてくださったこと、また、御霊にあってひとつとされたことを感じました。同時に、聖霊の溢れるご臨在を感じ、終始聖霊の導きの中で賛美し、証しさせていただきました。野田さんの「血潮したたる」のピアノ・ソロも、心に染み入るものでした。

● 姫望記念教会（台湾長老教会、太魯閣族教会）

台湾最後の奉仕は、太魯閣（タロコ）族の姫望記念教会礼拝での賛美と証しでした。この日は、主の特別な導きを感じ、キリストの十字架の身代わりのみわざについて、特に、小羊の打ち傷によって私たちに癒しが与えられたことを語りました。最後の曲「よき力に守られて」を聞きながら、タオルで涙をぬぐっておられた牧師先生は、私の賛美と証しの後、「今日は、聖霊が特別に働いてくださった。もう一度、『よき力に守られて』を歌ってください」と言って来られました。私が歌っている間、牧師先生は、人々の病の癒しのために、特別な祈りをなさいました。

教会には、心と体に病を持っている人が多くいるそうです。太魯閣語だったので、通訳の荘さんも私も、祈りの内容は分かりませんでしたが、原住民の言葉には日本語が混ぜられており、「イエス・キリスト」、「神様」、「十字架」、「全世界」、「懺悔」だけは分かりました。

後で、牧師先生に、「病の一番の原因は何ですか？」と尋ねると、「赦せない人がいることです」とおっしゃいました。私が、献身後、大きな罪に陥ったのも、うつ病になったのも、赦せない人がいたことが大きな原因でした。うつ病から癒されたのは、赦せない罪を、何日も何か月もかかって心底悔い改めてからでした。もちろん、主がご自身の栄光を現すための病もありますから、すべての病が罪によるものではありません。けれども、多くの場合、赦せない罪が病の原因のひとつとなることを、後に、ドイツの教会でバイブル・カウンセリングの奉仕をした時に、改めて認識するようになりました。（写真：前列右が牧師ご夫妻）



❖ チーフンおばさん

日本統治時代、日本軍と太魯閣族の戦争は 18 年も続きました。そして、最後まで日本に反抗した、強靱でいわゆる野蛮民族であった太魯閣族を、当時の日本軍は卑劣な方法（食物に毒を混ぜたり、川にマラリヤの病原菌を撒いたり、嘘をついて部族間で争いを起こさせたり・・・）をもって撲滅しようとしたそうです。しかし、姫望（チーフン）さんという女性の、日本に降参しようという知恵のある勧めによって、太魯閣族は絶滅を免れました。

3 度目の結婚に敗れて自殺しようとしていた姫望さんは、花蓮港教会の李水車伝道師に出会い、信仰を持ちました。その後、孫ヤコブ伝道師の世話で淡水（台北近郊）の神学校で学び、花蓮に戻って人々に福音を伝えました。



彼女のメッセージは、実にシンプルでした。「まことの神様ただひとり。皆さん、早く信じましょう」（これは歌になっています）。そうやって、多くの太魯閣族が救われて行きました。



チーフンおばさんは花蓮港のそばに住んでいましたが、そこまで福音を聞きに行っていた太魯閣族の人々が日本の憲兵につかまらないようにと（当時、原住民のクリスチャンは特別にひどい迫害を受けました）、今度は、彼女が山間の太魯閣族集落まで出向き、洞穴でメッセージを語るようになりました。その後、その洞穴そばに教会が建てられ、彼女の名前を取って、姫望記念教会と名付けられました。

神はチーフンおばさんに多くの霊的賜物を与えられました。彼女が手を当てると病は癒され、悪霊は追い出されました。ある日、隣の部族の病人が、祈祷師から、羊を殺したら癒されると言われ、羊を殺しても病は治らなかったため、チーフンおばさんに助けを求めに来ました。彼は、病を治してくれたら何でも欲しいものをあげると言いました。しかし、チーフンおばさんは、「何もいらない。でも、私はあなたにイエスをあげる」と言うと、その人の病は癒されました。その男性は、即座に仕事をやめて伝道師になりました。

福音は、このように、チーフンおばさんを通して、太魯閣族の間だけでなく、他の原住民族の間にも広がって行きました。

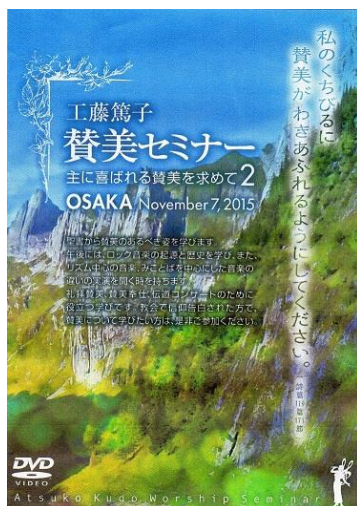
また、同時に、台湾人、日本人を始め、多くの宣教師が、原住民伝道に尽力しました。日本人宣教師の中では、父が原住民に殺されて後、医師として原住民の村に入り、村人を無料で癒し、福音を伝えた井上伊之助師（1882-1966）は、今もなお原住民から篤い尊敬を集めています。

●東京・賛美セミナー



5 月 21 日、花小金井にある弥生台キリスト教会をお借りして、第二回目の東京・賛美セミナーを開催しました。17 名の方々が参加してくださり、主が全講義を導いてくださいました。

今回も、聖書のみことばから悔い改めの大切さを語りましたが、多くの参加者が、その重要性を受け止めてくださいました。ある方は、「地上の礼拝は、天上の礼拝の写しの影」であることに目が開かれたとおっしゃっていました。3 時間目の「ロック音楽の起源と歴史」では、ロックの起源を知り、ショックを受けられた方もおられましたが、事実を知る大切な時でもありました。参加された皆さんが、これから主の導きを祈りつつ、真に主に喜ばれる賛美を求めて行ってくれることを、心から願っています。



●賛美セミナーII DVD

大変遅くなりましたが、2015年11月に大阪で開催した賛美セミナーIIのDVD（2枚組）が出来ました。ご希望の方は、メールにてお申込みください。（近日中に、オンラインストアからも購入できるようにいたします。）一部4000円です。

- 内容
1. 詩篇から学ぶ賛美（詩篇32篇より）
 2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
 3. ロックの起源・歴史とその影響
 4. いろいろなリズムと歌詞に即した奏楽（ピアノ：野田常喜）

●お祈りください

- ・これから、7月のベルリン日本語集会での奉仕、ヨーロッパ・キリスト者の集い、9月のブラジル・コンサートツアーの準備に取りかかります。頭の中でたくさんのことが渦巻いていますが、主の前に静まり、聖霊の導きの中で準備を進めることが出来ますように。
- ・同時に、今、もっと祈らなければならないことを強く思わされています。主が祈りの時を導いてくださいますように。

主イエス・キリストの恵みが、皆さまと共にありますように！

Atsuko Kudo

